

設計内容説明書 (耐久性・可変性)

鉄骨造一戸建て用

建築物の名称:

確認項目	設計内容説明欄			設計内容 確認	
	項	目	設計内容 (機構監修住宅工事仕様書による場合は記入不要)		
劣化対策等級 (構造躯体等)	構造躯体	鋼材の厚さ	・一般部 (mm) ・柱脚部 (mm)	住宅工事仕様書	適 不適
		防錆処理の種類	・一般部 () ・柱脚部 ()		
	床下防湿・換気措置	換気措置	基礎部の開口 (外周部の設置間隔 m) (開口高さ mm、幅 mm) ねこ土台 (有効面積 cm ² /m、高さ cm) 基礎断熱工法 (床下換気孔を設置しない) (断熱材種類 () 厚さ (mm) 熱抵抗 (m ² ·k/W)	住宅工事仕様書 計算書 仕上表 基礎伏図 矩計図	適 不適
		防湿上の措置	・防湿方法 (コンクリート厚さ mm) (防湿フィルム厚さ mm) (その他 ()) ・防湿フィルムの場合の材料 () 認定番号 ()		
小屋裏換気	小屋裏換気	・換気孔の位置 (吸気孔:) (排気孔:) ・天井面積に対する換気孔面積の割合 ()	住宅工事仕様書 仕上表 矩計図 立面図	適 不適	
維持管理対策等級 (専用配管)	専用配管	コンクリート内埋込み配管の有無	・排水管 [無 有] ・給水管 [無 有] ・給湯管 [無 有] ・ガス管 [無 有]	住宅工事仕様書 仕上表 平面図	適 不適
		地中埋設管	地中埋設管上のコンクリート打設の有無		
	排水管の性状等 (継ぎ手及びヘッダーを含む)	排水管等の内面	平滑である (仕様等:) その他 ()	住宅工事仕様書	適 不適
		設置状態	たわみ抜け等が生じないように設置措置 () その他 ()		

注1)フラット35S (優良な住宅基準 (耐久性・可変性))に関する基準は、以下のとおりです。

劣化対策等級・・・等級3

維持管理対策等級 (専用配管)・・・等級2または等級3

注2)重ね建て、連続建ての場合においては、別の書式 (鉄骨造共同建て等用)を活用してください。

注3)太枠で囲われた欄は、設計者等が記入してください。なお、この欄に記載されている事項は、必要な範囲内で、個別の検査において変更することができます。

注4)書式内の欄に記載事項が入らない場合は、別添用紙を用いることができます。この場合にあつては、別添用紙に番号等を付し、該当する欄に当該番号欄を記載してください。